

消防職員初任教育初任科(第 81 期)

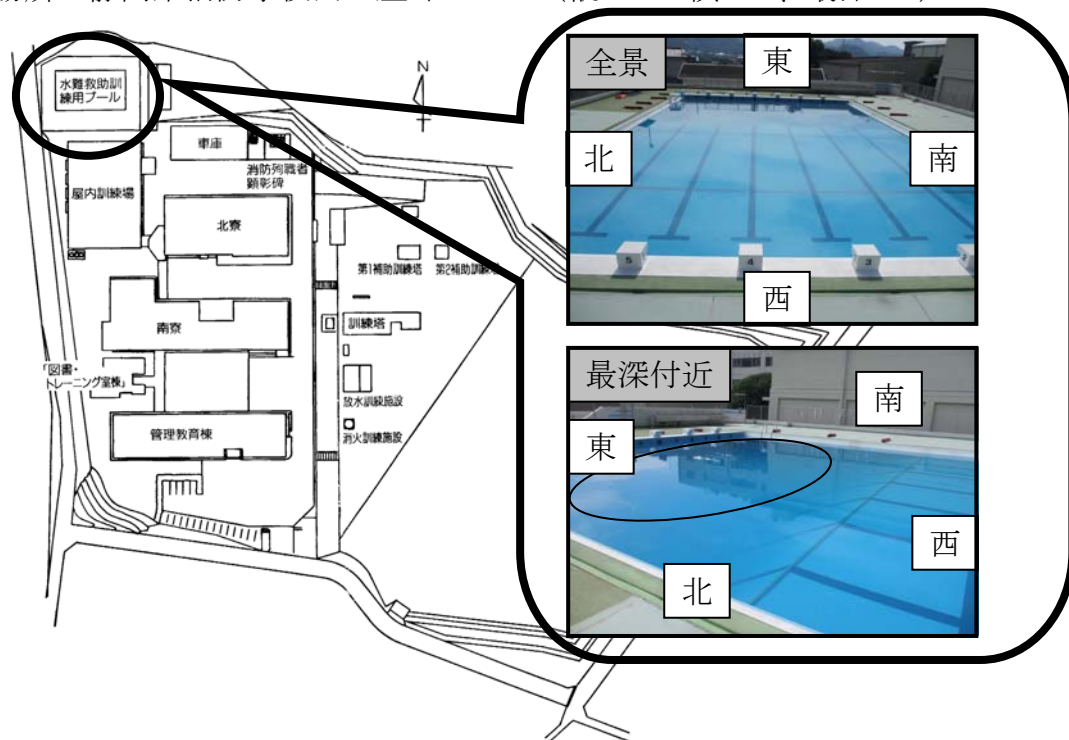
水難事故調査報告書

平成 26 年 7 月
静岡県消防学校

【1 事故の概要】

1-1 発生日時 平成26年7月3日(木)午後4時33分頃

1-2 発生場所 静岡県消防学校内 屋外プール(縦25m×横14m、最深5m)



1-3 天 気 天候：小雨、気温：22度、水温：22度

1-4 事故者 初任科(第81期)学生2名

所属名	学生	年齢	性別
N市消防本部	A	22	男
F市消防本部	B	22	男

1-5 事故の概略

平成26年7月3日(木)午後1時から午後4時45分まで初任科教育のカリキュラムとして、日本赤十字社静岡県支部の指導者4人を講師として赤十字水上安全法の訓練を実施した。

約20項目にわたる訓練の終盤にあたる午後4時30分頃、水着の上に救助服を着た状態(足は裸足)で、5分間の立泳ぎを水深5mの場所で行っていたところ、開始から3分程度経過した時点で、学生から溺水により沈んだ者がいるとの情報があったため、泳いでいる学生をすぐにプールから出るように指示するとともに、学校教官と日赤指導員がほぼ同時にプール底に沈んだと思われる学生2人を発見し、午後4時34分頃ほぼ同時に救出した。…別紙1-2

2人とも意識がなく呼吸が確認できなかったことから、1分1秒を争うものと判断し、学校教官が即座に心肺蘇生(心臓マッサージ)を実施したところ2人とも午後4時38分頃に意識を回復した。

この間、午後4時35分頃にA学生に、同36分頃にB学生にそれぞれAEDを装着したが、どちらも「ショック必要なし」とのメッセージが流れたことで使用にはいたらなかった。

救助要請は、午後4時36分に学校から静岡市消防局に119番通報し、午後4時48分と同54分に救急車が到着、午後5時23分には静岡市消防ヘリコプターが県立総合病院の医師を乗せて到着した。

この医師の判断で、2人を消防ヘリコプターに搭乗させ午後5時49分に消防学校を離陸し、県立総合病院へ搬送した。

県立総合病院では、2人とも肺に水が入っているため人工呼吸器による観察の必要があるとの診察で、集中治療室に入院した。

なお、A学生は、溺水及び急性肺水腫と診断され治療を受け7月9日(水)に退院し、7月14日(月)登校した。

また、B学生は、溺水による肺水腫及び肺炎と診断され治療を受け7月12日(土)に退院し、7月22日(火)登校した。

今回の事故を受けて、当該訓練については最終日であったため、そのまま終了となったが、7月14日から16日に実施予定であった、同じプールを使用する初任科の救助訓練(スキンドイビング)については、第81期学生の動揺を考慮して中止した。

1-6 訓練の概要

(1) 訓練の経緯

消防学校では昭和40年度頃から、日本赤十字社の水泳指導を年に3日間の講習として受けて来た。

平成10年度頃からは、日赤水上安全法という講習日1日の短期講習に切り替え実施している。

平成24年度からは、着衣泳に立泳ぎを取り入れて実施している。

カリキュラムの内容や日程・期間については、大きな変更がない限り基本的に前年度を踏襲する形で実施して来た。

(2) 訓練の状況（着衣泳）

7月1日から3日までの間、3クラスが1日交替で①救助訓練②消防活動応用訓練③消防活動訓練を順次実施していた。

このうち②消防活動応用訓練として水泳(1日4時間)の授業があり、依頼先の日赤指導員が訓練の指導をしていた。

7月3日の最後の部分は、47人(1組49人中、2人は見学)の学生が同時にプールの水深5mの場所で訓練していたため(前2日も同様)、水面が波打ち水中まで見通すことが難しい状況であった。

前2日と異なり、この日は小雨が降り出し、水温も低かったので震えている学生も見受けられた。

学生は、水中でも目立つオレンジ色の救助服を着て訓練を受けていた。





訓練を受けている学生の中には、立ち泳ぎをしている途中で一度動きを止め、少し休んで潜ってからまた泳いで水面に顔を出すという者もいたため、監視者からは溺れているのか泳いでいるのか判断できない状況もあった。

(3) 訓練の安全管理…別紙1-1

安全管理としては、日赤指導員4人、学校教官4人の計8人で監視体制(うち2人は水中で待機)をとるとともに、プールサイドにはレスキューチューブ13本を2メートルごとに配置し、どこからでも投げ込めるよう準備していた。

また、浮環1個、ペットボトル10個やAED1台などについてもいつでも使えるように用意していた。

1 訓練状況図

-  指導員 (4人)
-  教官 (4人)
-  学生 (47人)
-  レスキューチューブ (13本)

